



「竹」×SDGsで
ジェンダー課題の
解決をめざす！

～ウガンダを例に～

光ヶ丘女子高等学校



ジェンダー・プロジェクトの 活動の概要と経過 (2020年3月21日時点)



光ヶ丘女子高等学校 ジェンダー・プロジェクト

「ジェンダー・プロジェクト」募集!



HeForShe

ジェンダー平等に向けてのプロジェクトに参加してみませんか?



※詳細は随時UN Women 日本事務所 公式ウェブサイトに掲載します!
<http://japan.unwomen.org/ja>

参加高校募集



UN Women日本事務所は、日本における若者のジェンダー平等意識の啓発や女性のエンパワーメントの意識促進を目的としたプロジェクトを2017年より実施しています。プロジェクトでは、全国から選ばれた高等学校に在籍する生徒が、ワークショップやグループワークを通じてジェンダーについて各自が関心のあるテーマを研究、議論し、ジェンダー課題の解決策や提案を策定します。こうした一連の活動を通じ、プロジェクトに参加する生徒が主体的に問題の発見、解決を提案する能力を向上させ、将来的に変化を起こす主体 (Agent of Change) として活躍することを期待しています。



プロジェクト活動とスケジュール (予定)

3月1日 (金)	プロジェクトへの参加募集についての告知開始
4月	説明会 (詳細は裏面へ)
5月10日 (金)	オンライン参加申し込み締切
5-7月	UN Womenスタッフによる、ジェンダー平等に向けてのワークショップを開催
7-8月	各学校の自主グループによるグループワークを行い、今年のテーマに沿ったジェンダー課題の解決策や提案をプレゼンテーション形式にまとめる。
8月31日 (土)	ビデオ録画されたプレゼンテーションの提出締切
9月上旬	有識者によるプレゼンテーションの審査
9月16日 (月)	代表校 8 校選出
10月6日 (日)	代表校 8 校によるプレゼンテーション発表会 (会場: 国連大学)



HeForShe



テーマ

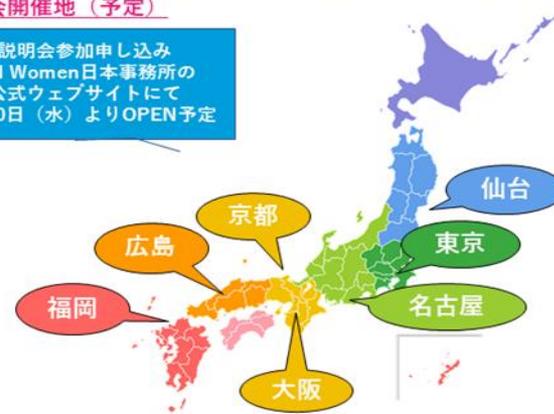
SDGs(持続可能な開発目標)の中から1つ以上を取り上げ、ジェンダーの視点を踏まえて、世界あるいは日本における問題提起とそれに対する総合的な解決策を提案する。

募集対象

プロジェクトの意義を理解し、ワークショップやグループワークに参加できる日本国内の高等学校 (参加は各学校でグループを形成し、学校を通じて申し込みを行って下さい)。

説明会開催地 (予定)

説明会参加申し込み
 UN Women日本事務所の
 公式ウェブサイトにて
 3月20日 (水) よりOPEN予定



※説明会は各開催地にて1回ずつの開催を予定。
 ※上記の開催地以外でも、同地域内3校以上からのご要望があれば、出前説明会を行うことも可能です。ご相談下さい。

提出期限は8/31 (土)

審査方法

- ①テーマに沿った10分間のプレゼンテーションビデオを作成し、提出する。
 - ②UN Womenとこのプロジェクトのパートナー企業、昨年のプロジェクト参加校 (有志) による審査を行い、上位8校を選定する。
- * 上位8校は代表校として国連大学にてプレゼンテーション発表。

「ジェンダー・プロジェクト」発足！



UN Women [国連女性機関]と株式会社資生堂が主催する「ジェンダー平等に向けたプロジェクト」に参加する生徒を全校に向けて募集したところ、2・3年生の生徒17名の生徒が応募しました。

(2019年6月)



「ジェンダー・プロジェクト」の活動開始！

「SDGs[持続可能な開発目標]の発想を生かした
ジェンダー平等に向けたプラン」を考えるために、
探究と議論を重ねました。

(2019年7月・8月)



ジェンダー課題解決のアイデアを創出！

SDGsの発想を生かした課題解決の画期的な
アイデアを創出！

「竹由来のサステナブルな生理用品」の開発・普及によって、ウガンダをはじめ世界の途上国の女の子たちが月経に関連する問題で学校に行けない状況を改善し、**女子の就学率を向上させる**アイデア。「**ソーシャルビジネスのしくみを活用したプランで、高校生が企業や社会を動かす！**」、という内容です！



プレゼンテーション動画を撮影し、出品！

『「竹」×SDGsでジェンダー課題の解決をめざす！
～ウガンダを例に～』と題するプレゼンテーションを
約10分間の動画に収めてUN Womenへ提出。

(2019年8月末)



国連大学で全国代表校として発表！



提出したプレゼン動画が全国代表に選出され、さらに探究を重ねてブラッシュアップしたプレゼンを、**国際連合大学ウ・タント国際会議場で発表しました！**

【動画あり】 <https://youtu.be/lfkdsWf8-N4>

(2019年10月6日)



国連大学で全国代表校として発表！



In support of **HeForShe** UN Women Solidarity Movement for Gender Equality

第3回 HeForShe すべての人が輝く社会を目指して ~ Generation Z からの提言 ~
HeForShe Engaging Youth to Achieve a Society Where Everyone Shines 2019

2019.10.06 Sun **13:00-17:00** (12:00 開場)
Gate opens at 12:00

持続可能な開発目標 (SDGs) を実現するためには、未来を担う若い世代が目標達成に向けて積極的に関わる事が重要です。本イベントは、UN Womenと株式会社資生堂が連携して実施している啓発プログラムの参加者である高校生が、ジェンダー課題を解決するために、当事者として自ら考えた提言や具体的なアクションプランを各セクターの代表者に届けることを目的としています。

Young people play a crucial role in the achievement of the 2030 Agenda for Sustainable Development. The force and inspirations of our youngest leaders represent one of the critical drivers for accelerating progress on sustainable development and gender equality. We encourage high school students in a program under the partnership between UN Women and Shiseido to recognize gender issues as everyone's issues and act on them as agents of change. We hope to empower the youth through this event, where they present their views, recommendations, and action plans on gender issues to representatives across different sectors.

開催概要 - Event Info -

会場：国連大学 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70
〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70
言語：日本語、英語 (同時通訳の準備がございます)
参加費：無料 事前登録制
主催：株式会社資生堂、UN Women

Venue: United Nations University
5-53-70 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo Japan 150-8925
Languages: Japanese / English (Simultaneous translation available)
Admission: Free *Advance registration is required
Hosted by: Shiseido Company, Limited, UN Women

イベント - Event - : 13:00-17:00

[プログラム Program]

13:00 - 13:15 (15分)	オープニングスピーチ UN Women	Opening Remarks UN Women
13:15 - 13:35 (20分)	これまでの活動から生まれたこと	Outcomes of 2018 Project Activity
13:35 - 14:15 (40分)	パネルディスカッション 「Gender Equalityはなぜ日本社会に必要なのか」 パネリスト 伊藤 公雄氏 京都産業大学 現代社会学部 現代社会学科教授 京都大学・大阪大学名誉教授 大崎 麻子氏 NPO法人Gender Action Platform 理事 足枝 豊晴氏 経済学者、「1億総活躍」にみる総務省の経済学」著者	Panel Discussion "Why is Gender Equality important for Japanese society?" < Panelists > Dr. Kimio Ito, Professor, Faculty of Contemporary Sociology, Kyoto Sangyo University, and Professor Emeritus, Kyoto University and Osaka University Ms. Asako Osaki, Director, Gender Action Platform Mr. Shungo Koreeda, Economist, Writer
14:25 - 16:40 (135分) ※途中休憩あり	Generation Z からの提言	Presentations by Generation Z
16:40 - 16:50 (10分)	スペシャルゲストからのスピーチ	Comment and Speech by Special Guest
16:50 - 16:55 (5分)	主催者からのお礼とメッセージ 株式会社資生堂	Closing Remarks Shiseido Company, Limited.

お申込み Registration <https://bit.ly/2L4R9f2>

お申込み締切：2019年10月2日 (水)
※定員になり次第締め切らせていただきます *The registration is made on a first-come, first-served basis.

*Kindly register by Wednesday, 2 October 2019

In support of **HeForShe** UN Women Solidarity Movement for Gender Equality

Generation Z からの提言

14:28 - 14:43 昭和女子大学附属昭和高等学校 Showa Women's University Senior High School

輝かしい未来への道
Road to Your Shinning Future

14:43 - 14:58 名城大学附属高等学校 Meijo University Senior High School

私たちが始める、アフリカの女性の社会参加に向けたプロジェクト
Our Action for Promoting African Women's Participation in Society

14:58 - 15:13 群馬県立館林女子高等学校 Tatebayashi Girls' High School

幼年期の遊びからこれからの働くを変える -男女にとらわれない2030の実現に向けて-
Changing Future Career Choices Through Childhood Play - Equality for Our Future Generations -

15:13 - 15:28 広島女学院高等学校 Hiroshima Jogakuin High School

ジェンダー視点で企業を選ぼう
Choosing companies from the gender perspective

休憩

15:40 - 15:55 開成高等学校 Kaisei Academy

ジェンダー不平等は自分ごと？
How to truly realize gender equality in Japan

15:55 - 16:10 光ヶ丘女子高等学校 Hikarigaoka Girls' High School

「竹」× SDGsでジェンダー課題の解決をめざす！ ~ウガンダを例に~
Bamboo Innovation Improving women's lives through the natural power of bamboo ~ Ugandan case study ~

16:10 - 16:25 愛知県立旭丘高等学校 Aichi Prefectural Asahigaoka Senior High School

ワタシ、誰と結婚したい？ -上昇婚志向とジェンダー平等-
Who do you want to marry? - Marrying for higher status and Gender equality -

16:25 - 16:40 立命館守山高高等学校 Ritsumeikan Moriyama Senior High School

絵本を通してジェンダー意識を改善する
Improving the gender recognition with picture books

国連大学で全国代表校として発表！



国連大学での発表の後・・・

国際連合大学での他校の発表や国連関係者・
企業関係者からのコメントに「**触発**」を受けて・・・

「まとめ」のミーティングで「この後、どうする？」
との問いかけに、「**ぜひ製品化をめざしたい！**」
「**ジェンダー啓発の活動も広げたい！**」との思い
で全員一致しました！

さらなる活動へのチャレンジが決定！

(2019年10月)



JICAウガンダ事務所から連絡が！



さらなる探究の深掘りに向けて議論をしている
さなか、**ウガンダから国際電話が学校に入る！**

JICAウガンダ事務所の内山貴之次長から、
「JICAの職員が光ヶ丘のプレゼンのことを知った。
ウガンダで似たような活動をしている企業を支援
しているので、ぜひ紹介したい」とのこと！

(2019年11月)



ウガンダへ英語版動画を送る！

プレゼンを英語版に再構成・再編集して英語で再収録し、それをJICAウガンダ事務所へと送信。

JICAウガンダ事務所を通じて、ウガンダで「サトウキビの繊維由来の生理用品」の開発に取り組んでいる「**EcoSmart**」さんへ届けました！

(2019年12月)

【動画あり】 <https://youtu.be/zoltDGXcFP8>



ウガンダのスタートアップ企業

「EcoSmart」さんは正式名称を **EcoSmart Uganda Limited** といい、ウガンダで「サトウキビの繊維由来のサステナブルな生理用品」を生産たり、初経教育を行ったりしている企業です。

国連人口基金 (UNFPA) と花王株式会社 がパートナーシップ契約を締結し、「ウガンダ月経衛生環境向上プロジェクト」としてEcoSmartさんを支援しています。



(EcoSmart Webサイトより)



ウガンダと英語でSkypeミーティング！



JICAウガンダ事務所を通じて、「EcoSmart」の
担当者と約1時間にわたるSkypeミーティング
(英語)を実施しました！

(2020年1月27日)
※今後も継続予定。



「光ヶ丘×SDGs」活動発表会でも発表！



本校を会場として行われた「光ヶ丘×SDGs」活動発表会でも、一般の参加者や学校の見学に訪れた中学生・保護者に向けプレゼンを実施しました。

(2019年12月)



「光ヶ丘×SDGs」活動発表会 2019

2019.12.1(Sun)11:00a.m. start

- 全校でのSDGsへの取り組み** …………… 生徒会

 - ・昨年度から取り組んでいる「ハブラシ回収」や「トイレトペーパーのFSC®認証化」の報告のほか、「新たなチャレンジプラン」も発表します！
- SDGsの点字訳** …………… 点訳部

 - ・SDGsのアイコンと説明を点字で表した作品を制作。9月14日(土)に本校で開催した文化祭で展示し、地元の愛知県立岡崎高等学校の生徒のみなさんを招待して作品に実際に触れていただきました！
 - ・「誰一人取り残さない」という理念の実現に挑むための工夫や制作のエピソードを発表します！
- デンマークへの研修旅行** …………… 福祉コース2年生

 - ・今年で20年目を迎えた北欧のデンマークへの研修旅行。高齢者施設や子どもの施設で交流をしました。さらに、福祉先進国としても有名なデンマークは、今年発表されたSDGsランキングで世界1位に。今年から新たに、「UN17 Village(宇野地)」と「コペンハーゲン・インターナショナルスクール」への訪問を追加しました。「日本初の研修旅行(本校専科)」となった、そのレポートを発表します！
- ジェンダー課題解決への挑戦** …………… ジェンダー・プロジェクト

 - ・SDGsの観点からジェンダー課題を解決するアイデアを提出したところ、李福華委員を委員長に選出。10月6日(日)に国際連合大学・タント国際会議場で開催された、UN Women【国連女性権奨】と株式会社兼生堂が共催するイベントで、全国代表校としてプレゼンテーションしました！
 - ・タイトルは、「『竹』×SDGsでジェンダー課題を解決する！ーウガングダを例にー」。
 - ・実際に国連大学で発表したプレゼンテーションを披露します！ さらに、「次のアクションプラン」も発表！



ラジオ番組に出演！

2019年12月10日(火)18:00～
FMおかざきに生放送で出演！



ラジオ番組に出演！



「ジェンダー・ツリー」を制作！

全校生徒への「ジェンダー課題の啓発活動」として、「ジェンダー・ツリー」を制作。

SDGsのGoal5のアイコンをデザインしたカードに、生徒が考えるジェンダー課題を書き込んでもらって、そのカードを“ツリー”のかたち配置しました！

(2019年12月)



企業へアプローチ！

プロジェクトメンバーの生徒が、
日本の大手生理用品メーカーへ連絡を取って、
プレゼン動画を送ったり、竹紙のメーカーの担当
者にアポイントを取るなど、**企業の協力を仰ごう
と積極的にアプローチを開始！**

卒業する生徒たちは、新たに団体を立ち上げる
ことに！

学びから、「ソーシャルアクション」へ！

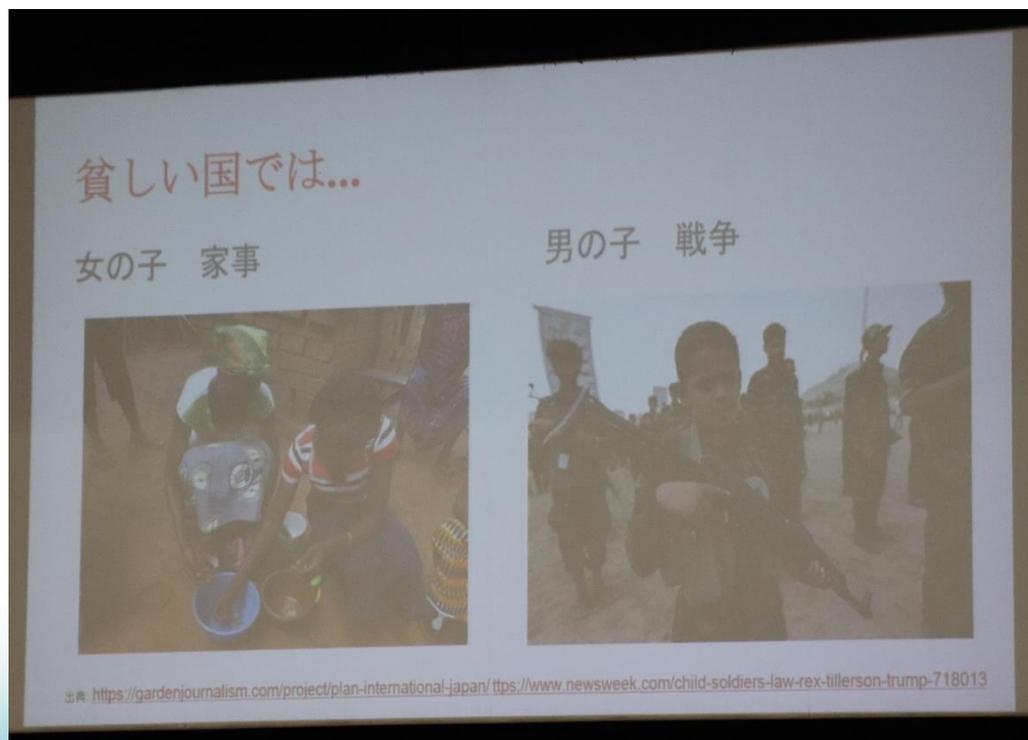
(2019年末～継続中)



地元の公立中学校で出張講座を実施！



プロジェクトメンバーの生徒の出身中学校で、
ワークショップ形式の出張講座を実施しました！
(岡崎市立葵中学校／2020年1月21日)



地域の公立中学校で出張講座を実施！



プロジェクトメンバーの生徒の出身中学校で、
ワークショップ形式の出張講座を実施しました！
(岡崎市立葵中学校／2020年1月21日)



地域の公立中学校で出張講座を実施！



葵中学校の都筑校長先生と記念撮影。

SDGs探究AWARDSで最優秀賞を受賞！



一般社団法人 未来教育推進機構 (UMEDAI) 主催
「SDGs探究AWARDS2019」に、ジェンダー・プロ
ジェクトの活動を応募したところ、全国の中高校生
945点の応募の中で **最優秀賞に選ばれました**！



(2020年2月26日発表)



朝日新聞(全国版・教育面)に活動が掲載！



2020年3月8日(日) * 付 『朝日新聞』(朝刊)と 朝日新聞DIGITALに、 ジェンダー・プロジェクトの 活動が掲載されました！

* 3月8日は、国連の指定する国際デーのひとつ「国際女性デー」。
朝日新聞が大々的に特集記事を組んだうちのひとつです。

(記事掲載を伝えるUN Women日本事務所のFBより)

 UN Women 日本事務所
1時間 · 🌐

【株資生堂ご支援・高校生のジェンダー平等啓発事業】

愛知県・光ヶ丘女子高の学生は本事業に参加し、昨年10月、国連大学で開催したイベントで、#ウガンダの女児の課題を解決に導く竹の繊維を使った生理用品を提案しました。その発表後、今に至るまで、出前講座を実施、企業に商品化の相談、#JICAを通じたウガンダの活動家との交流を行うなど、ジェンダー平等に向けてアクティブに活動しています！高校卒業後は、団体の立ち上げも検討しています。

・朝日新聞 (Dear Girls) 生理用品、ウガンダの女の子に「ジェンダー平等」めざす愛知の高校生ら (有料会員のみ全文公開)
<https://bit.ly/2vJnvYg>

・第3回「HeForShe すべての人が輝く社会を目指して～Generation Zからの提言～」
<https://bit.ly/3aGfwd3>



ASAHI.COM
(Dear Girls) 生理用品、ウガンダの女の子に「ジェンダー平等」めざす愛知の高校生ら：朝日新...

世界の女の子の未来を変える！

ジェンダー・プロジェクトは、
「竹由来のサステナブルな生理用品」の
開発と普及を通じて、
世界の女の子の就学率を向上させ、
女の子の未来を変えることを目標に、
今後も活動を継続していきます！

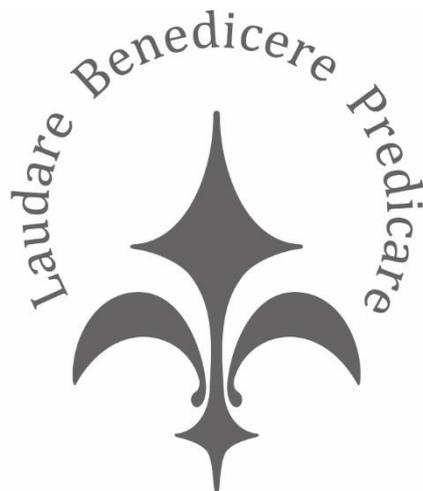


SDGsの達成に向けて！

〈SDGs〉のなかでも、とりわけ**Goal 5**
「**ジェンダー平等を実現しよう**」の達成
に向けて活動していきます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





人の、光に。

HIKARIGAOKA

Girls' High School

Since
1963



*掲載の情報は、2020年3月21日（国連「国際森林デー」）時点のものです。